

小田原市教育委員会協議会会議録

- 1 日時 平成17年11月15日(火)午後7時00分～午後7時40分
場所 小田原市役所 全員協議会室

2 出席した教育委員の氏名

島田祐子
青木秀夫 (教育長)
桑原妙子
安藤實英 (教育委員長)
横田俊一郎 (教育委員長職務代理者)

3 説明等のため出席した教育委員会職員の氏名

学校教育部長	石嶋 襄
教育政策課長	杉崎 公
学校教育課長	椎野 美乃
学校保健課長	椎野 繁雄
学校教育課長補佐(学事)	青木 昭
学校教育課長補佐(指導)	佐宗 修二
施設担当主査	松本 章
給食担当主査 (事務局)	尾崎 久雄
教育政策課教育政策担当主査	杉山 博之
教育政策課主査	田代 勝美

4 議事

(1) 報告事項

公共施設におけるアスベスト使用実態調査結果について(教育政策課・学校保健課)
平成18年度公立幼稚園新入園児応募状況について (学校教育課)
学校2学期制の説明会等について (学校教育課)
新たな学校運営組織・教員の新たな職について (学校教育課)

5 議事の概要

(1) 報告事項

公共施設におけるアスベスト使用実態調査結果について(教育政策課・学校保健課)
教育政策課長...資料1の1枚目の裏面を御覧ください。学校施設のアスベスト使用状況でございますが、平成17年7月29日付けの文部科学省通達により、今までの昭和62年当時のアスベストの他にロックウールやパーライト、ヒル石、フェルト材の建材も新たに対象になったことから、本市においては全校(園)の建築図面や設置現場を確認し、該当校(園)についてはサンプルを採取し分析調査を行いました。さらにアスベストの含有が認められた施設においては飛散状況を確認するため、専門機関に委託し空気分析調査を実施しました。その結果、昭和62年度に封じ込め工事を行った小学校3校のほか、小学校2校、中学校1校、幼稚園1園、学校給食センターにアスベストが含まれる製品があることが確認され、空気分析の結果、飛散状況については問題ないことが判明いたしました。今後は順次、必要な対策を講じる旨を平成17年10月31日付けで全校・園に通知しました。

学校保健課長...先月の協議会で御報告したその後の経過ですが、資料1の2枚目の学校給食等の調理機器のアスベスト対策についての 3 今後の対応についてを御覧ください。(1)学校給食では、該当するガス回転釜は引き続き使用しない。該当する釜34台を全て撤去。見直しの結果、必要な29台を早急に買い換える。撤去するまでの間、応急的に露出部分を被い、飛散防止する。ガス回転釜を交換するまでの間、他の調理機器の利用や献立の工夫により給食を継続しています。ここで、業者が寿(ことぶき)工業に決まり、29台については12月13日を納期としています。アスベストは密封されていますので、釜については、献立を工夫してやってもらっていますが、受注生産の為、一番台数が多い学校を中心に順番に納品日を調整中です。

安藤委員長 ...報徳小学校の大气調査の0.6本/Lでも問題が無いのですね。

教育政策課長...資料下欄にございますが、大气汚染防止法によれば敷地境界濃度基準が10本/L以下であれば問題ないことから、問題ありません。

安藤委員長 ...フェルト材とは何ですか。

教育政策課長...結露を防止するもので、断熱・防音材として屋根の下に貼ってあります。

横田委員 ...単位の 本/L とはということですか。

教育政策課長...大気1リットル中にアスベスト繊維が何本含まれているかということで、自然の大気中にも1~2本はあります。

安藤委員長 ...吹き付け材等のひる石はどんなものですか。

教育政策課長...ひる石は、簡単にいえば石膏ボードのようなものです。

(学校保健課 退室)

平成18年度公立幼稚園新入園児応募状況について (学校教育課)

学校教育課長...平成18年度公立幼稚園新入園児応募状況について、ご報告いたします。

資料2「平成18年度新入園児募集状況」をご覧ください。まず最初に、一番上の表をご覧ください。市内6つの公立幼稚園の中で、今回募集いたしました4歳児定員を上回る応募がありましたのは、表のBとC欄にありますように、矢作幼稚園が定員70人に対し73人、報徳幼稚園が定員35人に対し37人の応募がありました。残りの4園については応募数が定員を下回った結果となっております。定員を上回った2園につきましては11月3日に抽選を行い、入園者を決めさせていただきました。全体の結果といたしまして、平成18年度の公立幼稚園6園の入園予定者は、表Aの総定員770人に対しまして、表Fの595人が入園予定で、総園児充足率は77.3%でございます。なお、下中幼稚園については70人定員に対し32人で、2クラス編成には至っておりません。また、参考までに資料の中ほどの表と棒グラフですが、中ほどの表は平成17・18年度におきます各幼稚園通園区域内の3歳児の応募状況を示したものです。前年度と比較した場合、児童数は増えているものの6園全体の応募率は下がっておりますが、東富水幼稚園は対象児童数は大幅に減っているものの応募率は上がり、逆に、前羽幼稚園は児童数は増えているものの応募率は大幅に下がり、矢作幼稚園は対象児童数が大幅に増え、結果として抽選を実施する等、各幼稚園によって状況が

異なっております。棒グラフについては、各幼稚園ごとの応募率を年度別に示したのですが、全体から見ると増加傾向にあると思われま。以上で、平成18年度公立幼稚園新入園児応募状況についての報告を終わります。

桑原委員 ...応募が少ないと園の運営が困るのですか。

学校教育課長...具体例を挙げますと下中幼稚園は1クラス、前羽幼稚園も少人数ですが、少なければ、子どもにより目が届く良さがある反面、子どもが少ないと活気に欠けるという面もあります。

島田委員 ...抽選にもれたら他の園に行けるのですか。

学校教育課長...公立幼稚園は学区が決まっていますので、私立幼稚園、保育園に行くことになると思います。

横田委員 ...幼稚園職員数は、入園児数によって変動することがあります。例えば、保育士数が定員で決まっています、園児数が少なくてもその保育士数で運営するのですか。

学校教育課長補佐(学事)...幼稚園は各クラスに1人必ずクラス担任がいて、今回の場合、クラス数が1つ減の見込みですが、基本的には正規職員数は変えません。ただ、介助教諭は児童の状況によっては配置数が変わることも考えられますが、クラス担任数については変更ありません。

桑原委員 ...以前に比べ私立に通う子どもが増えたようなことはありますか。

学校教育課長補佐(学事)...今回実施した平成18年度公立幼稚園新入園児応募での総園児充足率は77.3%で、過去2~3年の公立幼稚園応募率は2~3%増加しています。これで公立幼稚園への増加傾向とは一概に言えませんが、私立幼稚園充足率は83.7%で、公立応募率が上がったからと言って私立応募率が下がったという傾向ではありません。公立幼稚園は定員までまだ余裕がありますので、傾向としてはほとんど同じです。

学校2学期制の説明会等について

(学校教育課)

学校教育課長...報告事項「学校2学期制の説明会等」につきまして、説明をさせていただきます。去る9月15日の教育委員会定例会におきまして、「平成18年度から市内全小中学校で2学期制を実施すること」が決定いたしました。

たが、その後、広報おだわらや各学校への通知によって、決定の周知に努めているところでございます。また、保護者や市民の皆様にご理解とご協力をいただくために、説明会を行います。資料にはございませんが、10月30日の午前・午後の2回、市民対象の説明会を実施し、合計で60名余りのご参加をいただきました。今後、お手元の資料のとおり、各中学校区で計12回、説明会を行う予定であります。説明会では、お手元のリーフレットとパワーポイントによる画面を使って、決定までの経緯と実施のねらいを中心に説明し、参加の方から、ご質問や具体的実施に向けてのご意見をいただきたいと思いますと考えております。説明会が12月中旬に終了いたしますので、いただいたご意見等も勘案して、12月の教育委員会定例会で、2学期制について、学期の区切りや長期休業の設定等を盛り込んだ管理運営規則の変更について、ご協議いただくことを予定しております。

桑原委員 ... 10月30日説明会での市民の反応はどうか。

学校教育課長... 不安だから来たという方、どのように2学期制を進めていくのか知りたいという方、反対の意見を述べに来た方等様々な方が参加され、質問としては、給食はどうなるのか、学期の区切りはどうなるのか、評価はどうなるのか、夏休みはどうなるのか等の具体的な質問が中心でした。批判的な立場の方は、決めるまでに投げかけが足りなかったのではないかと、もっと市民に投げかけて意見を聞く経過を大切にすべきではなかったかという意見もございました。それについては、教育委員会としては2年間のうちに意見をいただく機会を持ってきたことをご説明しました。

桑原委員 ... 参加者は、現在中学生の子を持つ保護者が多いですか。

学校教育課長... そこまでは把握しておりません。

安藤委員長 ... 初めてのことで、新しい試みなので市民が不安を持つのは当たり前ですね。教育は枠で捉えることなく、柔軟な考え方で作っていけば良いのです。不安は完全には取り除けませんが、教育については、仕組みが完璧にできて始めるのではなく、始めてみて都合の悪いところをその都度直していく柔軟さが必要です。

学校教育課長...報告事項「新たな学校運営組織・教員の新たな職」につきまして、説明をさせていただきます。資料4をご覧ください。この制度改正は、神奈川県教育委員会としての決定であり、小田原市教育委員会といたしましても、その趣旨に則り、進めていくものでございます。1ページ目にご覧いただけますが、制度改正の趣旨・目的は、組織的・機能的な対応のできる学校運営体制をつくるために、学校運営組織の改善として、分掌等をカテゴリーを基本としたグループに再編統合し、グループリーダーとして「総括教諭」を置き、企画会議を設置することがあげられ、そして、会議の回数削減、時間短縮等を行うというものでございます。3ページ及び5ページに具体的な組織編制が記載してありますが、カリキュラム・地域連携、児童・生徒の指導・支援、学校管理・運営の3つのカテゴリーに対応するため、原則として、小学校で4、中学校で5の新たなグループを編制することになります。そのグループリーダーとなる総括教諭は、職務として、校長・教頭の学校運営の補佐、所掌グループの校務統括、教職員の人材育成が位置づけられ、職責に見合う給与として、給料表上の教諭(2級)と教頭(3級)の間に(仮称)「新2級」が作られる予定です。そして、校長・教頭・グループリーダー等を構成員として、企画会議を設置し、そこでは、学校運営上の重要事項について企画立案を行ったり、職員会議での協議事項の調整等を行ったりすることになります。なお、分掌組織や総括教諭の配置、及び企画会議の設置等は、小田原市の管理運営規則等の内容に関わりますので、12月の教育委員会定例会におきまして、その改正につきまして、ご協議いただくようお願いいたします。以上、簡単ですが、説明を終わらせていただきます。

安藤委員長 ...現在の主任制度が上手く機能していないからできたのですか。

学校教育課長...主任が無くなり、代わりに総括教諭ができます。主任と総括教諭の違いは、主任は主任という立場はありますが、職の位置付けが無いので、給与体系に直接関係ありませんでしたが、総括教諭は、給与をきちんと位置付けるということです。

安藤委員長 ...中間管理職という位置付けをしたということですか。

学校教育課長...県は中間管理職という用語を使っておりません。

島田委員 ...健康相談とか、スクールカウンセラー等と重複しませんか。

学校教育課長...子どもの心と体の健康教育、健康管理は教員の仕事でして、当然教員はその仕事をしますが、教員だけではできない専門性を有する部分もありますので、そこに校医とかカウンセラーとかいろいろな方が入ります。しかし、あくまでも教員の本来の仕事として健康指導、健康教育がありますので、その部分が校務分掌として位置付けられている訳です。

島田委員 ...キャリアガイダンスとは進路のことですか。

学校教育課長...そのとおりで、職業も含めて自分がどうやって生きていくのかを学ぶことです。

島田委員 ...今までは担任がやっていたのですか。

学校教育課長...中学校ではかなり学校として取組んでいます、小学校ではまだ点のようなものでしたので、今後は計画的に取組むようになると思われます。

安藤委員長 ...開かれた学校づくりを目指して、校長、教頭、教員代表、保護者代表、地域住民代表、教育委員会等が入って、学校の壁を取り除いて透明性をもって運営しようということがありますが、その土台となるものですか。

学校教育課長...委員長がおっしゃった学校運営協議会は、もっと大きな考え方です。御説明したのはあくまでも教員の仕事で、ただ、学校運営は今後教員だけではできませんので、保護者や地域の方も巻き込みながら、学校経営に参画してもらうということは委員長が御指摘されたとおりです。御説明したのはあくまでも教員の仕事の進め方として、グループというカテゴリーの中で仕事を分担していくということです。例えば、地域連携というグループの教員は当然保護者や地域の方と意見を交わしながら仕事を仕掛けることになります。

安藤委員長 ...特色ある学校づくりを進めていく過程で校長、教頭の意思がきちんと伝わるようになると思いますね。

学校教育課長...そのようになると思います。

島田委員 ...クラス担任や授業も持たないのですか。

学校教育課長...担任であることや教科指導を行なうことは、今までどおり普通に行ない

ます。さらに、それ以外の仕事も教員には沢山あり、細分化されていましたが、それを整理統合、グループ化しようとするものです。担任の仕事、教科指導の仕事は従来どおり行ないます。

安藤委員長 ...今までは末端まで意思疎通ができていなかったようですが、特色ある学校づくり等の新しい試みの中で、校長等の説明責任が明確になったところは良いですね。学校の塀の高さを常々感じていましたが、壁を崩して透明性を目指すには丁度良い機会です。今まで主任は何人いたのですか。

学校教育課長...きちんと主任に位置付けられているのは、学年主任、生徒指導主任、研究主任、保健主任、教務主任等で、それら以外は各校によって様々です。

横田委員 ...候補者を選ぶのは校長や教頭ですか。

学校教育課長...資料3ページの任用のところを御覧いただきたいのですが、校長が推薦した者を市教育委員会が確認して県教育委員会に推薦します。最終的に県教育委員会が任用して任命することになります。

安藤委員長 ...新たな試みで良いことですね。